

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 1108

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島経済大学 経済学部		開催 方法	■対面（本学）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	金融論Ⅱ 金融と日本経済		配当年次	2
				受入学年	2年次以上
	学問分野	番号	23	名称	経済学
3. 担当教員名	福居 信幸・経済・特任教授				
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022年 9月 30日（金）～ 2023年 2月 1日（水） 金曜日 14:45 ～ 16:15				
7. 基礎知識の有無	②「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	人		9. 選考方法		
10. 科目内容・ 授業計画	<p><科目内容> 金融論Ⅰの内容を踏まえて、家計、企業、政府の金融行動の理論と実態を学び、金融と経済全体の動きとの関係を理解します。特に、資金循環表のしくみを学び、日本の金融構造の変容を考察します。さらに、平成バブルとその後の平成金融危機の経緯を踏まえ、金融の機能不全がどのように実物経済に影響を与えるかを学びます。最後に、金融監督規制の重要性を学んだうえで、今後の金融システムのあるべき姿を展望します。毎回授業の最後に、当日の講義内容を踏まえた課題を出し回答を求め、次週の授業の冒頭で各自の回答傾向や解答例などを解説します。また、授業外のレポート提出を第14回授業日（予定）までに1回求めます。</p> <p><授業計画> ①オリエンテーション、②家計の貯蓄行動、③家計の資産選択理論、④企業の投資決定理論と資金調達方法、⑤企業の資金調達理論と現状、⑥政府の国債発行と財政赤字、⑦資金循環表のしくみと見方、⑧中間まとめ、⑨日本の金融構造の特色と変容、⑩平成バブル崩壊と金融システム危機、⑪世界金融危機と欧州債務危機、⑫金融機能の高度化～金融派生商品と証券化商品～、⑬金融監督規制、⑭日本の金融システムの将来像、⑮後半まとめ</p>				
11. 試験・評価方法	定期試験 60%、課題レポート 25%、受講態度等 15%として総合的に評価します。出席日数が3分の2に満たない場合は、原則として、定期試験の受験を認めません。受講態度等は出席状況等により評価され、特に11回以上の出席は1回ごとに1点が100点満点の外枠で加点されます。また、毎回授業終了時に与えられる課題に対する優れた回答には加点があります。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。